科目分類	一般教養科目　語学・情報			**開講時期**	2 年	前期
科目名	中国語 I					
選択/必修	選択	**単位数（時間数）**	2 単位	**60 時間**	**授業形態**	演習
担当教員	村田　浩					
メールアドレス	mypatax@waka.kindai.ac.jp		**オフィスアワー**	授業前後に対応		

授業目的	「ピンイン」の学習と活用によって中国語の発音を習得する。その上で中国語の基礎的な語彙と文法を学び、聞き、話し、読み、書く能力の基礎を完成させる。加えて、中国の様々な話題に触れることで「知る」ことをも重視する。
授業概要	初めて学ぶ言葉の場合、発音のマスターはとても重要である。理屈以前に耳と口でおぼえなければならない。そのため、中国語では「ピンイン」と呼ばれるローマ字発音記号の習得を徹底する。また、文法学習はもちろんのこと、日本とはやや異なる「簡体字」と呼ばれる漢字の学習にも重点が置かれる。
授業計画	※週 2 コマ連結授業のため、半期で計 30 回 第 1・2 回　導入とピンイン 第 3・4 回　第 1 課：声調、韻母 1 第 5・6 回　第 1 課：声母 1、韻母 2、軽声 1 第 7・8 回　第 2 課：声母 2、韻母 n と ng、変調のパターン 1 第 9・10 回　第 3 課：数字、基本語彙リスト「よく使う量詞」、軽声 2、変調パターン 2、変調パターン 3、儿化について 第 11・12 回　発音のまとめ、決まり文句・あいさつ表現 第 13・14 回　第 4 課：A“是”／“不是”B、疑問文 1“～吗？”、“也”と“都”、“我们”と“咱们” 人称代名詞 第 15・16 回　第 5 課：述語と目的語、なまえの言い方、疑問文 2・疑問詞疑問文、疑問文 3・選択疑問文 第 17・18 回　第 6 課：名詞述語文、疑問文 4・省略疑問文、省略可能な“的”、基本語彙リスト「月日・曜日などの言い方」 第 19・20 回　第 7 課：形容詞述語文、比較文、疑問文 5・反復疑問文　基本語彙リスト「指示代名詞」 第 21・22 回　第 8 課：“在”（所在）、“有”（存在、所有） 第 23・24 回　第 8 課：時点と時量、量詞 第 25・26 回　第 9 課：介詞、過去の経験“过”

	第 27・28 回　第 9 課：数量補語、方位詞 第 29・30 回　前期のまとめと復習
教材 参考文献等	内田慶市ほか『中国語への道【初級編】―近きより遠きへ― 改訂新版』金星堂 中国語辞書の携帯を推奨。電子辞書でも可。
成績評価 基準・方法	原則として平常評価（小テスト、発表）50%、期末試験 50%で評価する。 文法知識のみならず、発音能力と積極性を重視する。
履修要件	特になし
留意事項 その他	ローマ字を利用した発音記号「ピンイン」を徹底的に習得せねばならないと覚悟すること。 大きな声を出して発音練習をする必要があることも、あらかじめ覚悟しておくこと。 授業への積極的な参加が求められるので、やる気がないと続けられない。 週に２コマある授業を両方受講せねばならない。